

金色夜叉 (1954)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스 文芸

製作国 日本

色彩 Color

時間 93分

初公開日 1954/03/21

【解説】

大正から昭和にかけて数多く映画化された尾崎紅葉の同名小説を、島耕二が監督した文芸作品。脚色は島と川口松太郎による。

一高の学生である間貫一には宮という許嫁がいた。しかし宮の両親は、富豪の富山からの結婚の申し込みを快諾、二人の結婚を決めてしまう。激怒した貫一は、熱海で宮を蹴りながら詰問するが、宮は何も答えなかった。金に恨みを抱いた貫一は高利貸しとなり、友人たちまでをも苦しめるようになっていた。宮は夫にいびられ不幸な結婚生活を送る中で、富山の財産を貫一の洋行費用にあてようとする。貫一と宮はついに再会を果たすのだが、すでに貫一は宮のことなど見向きもしなかった。放火事件に巻き込まれ気を失った貫一だったが、自分を介抱してくれた宮の手を振り払ってしまう。

【クレジット】

監督 島耕二

原作 尾崎紅葉

脚本 川口松太郎
島耕二

撮影 高橋通夫

出演 山本富士子
根上淳
信欣三
細川ちか子
水戸光子
船越英二
菅原謙二